

平成30年度活動報告

江角学びの交流センター

当センターは本学の附属機関として、地域社会に開かれた窓口としての機能を担い、地域貢献活動全般の情報を集約するとともに、各学科・専攻の学生・教職員による主体的かつ組織的な地域貢献活動を推進している。その内容は 自治体や産業界との連携事業、市民講座の開講、学生ボランティア活動の支援、地域志向の教育課程の編成等々幅広い分野にわたっている。

平成30年度はホームページの拡充に着手し、純心市民講座等のインターネット申し込みの受け付けや、個々の活動内容の詳細について広く情報発信することに尽力した。たとえば毎年の「評議員会」(当センター規約第7条)では、自治体および産業界から学外評議員を委嘱し、本学の地域貢献活動およびそれと連動した教育課程について、客観的に評価していただき意見聴取をしているが、その資料集(事業報告書)を公開している。

また、本学正規授業「かごしま学」の講師としても教鞭を取っていた小川学夫名誉教授(元地域人間科学研究所所長)が第69回「南日本文化賞・学術文化部門」(南日本新聞社主催)を受賞されたことは慶賀の至りである。氏は奄美島唄研究の第一人者で、島唄の伝承保存に取り組みられてきたことが評価された。

1 地域人間科学研究所

①「かごしま学」公開講義(かごしま大学連携講座)・文化講演会

平成30年は明治維新150周年という記念すべき年であり、県内各地で記念行事・講演会等々が目白押しである。本学でもNHK大河ドラマ「西郷どん」のキーワード「Cangoxina」の由来をはじめ、当時の国内外の

情勢についての講演を、十年来「かごしま学」の学外研修でご指導いただいている松尾千歳尚古集成館館長に依頼した。なお、その講演内容の詳細については、本誌において「特別講演」として掲載している。

演題：Cangoxina—世界史の中の島津斉彬と西郷隆盛—

講師：松尾千歳氏（尚古集成館館長）

日時：平成30年7月5日（木）14:50～16:20

会場：本学大講義室（入場無料）

主催：鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター地域人間科学研究所

共催：かごしま県民大学中央センター「かごしま県民大学連携講座」

対象：本学学生・学園教職員・一般

入場者数：約200名（一般50名を含む）

講師プロフィール

松尾千歳氏：1960年福岡県生まれ。鹿児島大学法文学部人文学科卒業。1983年尚古集成館入館。同文化財課長、副館長を経て2016年より現職。子供のころから歴史好きで、多くの偉人を輩出した鹿児島にあこがれを抱き、鹿児島に住み、鹿児島の歴史・文化を調査研究するようになる。研究をすればするほど、自身を含め多くの人が鹿児島の歴史・文化を誤解していることに気づくようになる。当時の鹿児島は外交最前線であり、異国情緒あふれる豊かな文化とレベルの高い殖産技術を育んでいたことをもっと多くの人に知ってもらいたいとの思いで活動を続けている。

著書『島津斉彬』シリーズ実像に迫る（戎光祥出版）2017。『西郷隆盛と薩摩』（吉川弘文館）2014。『鹿児島歴史探訪』（高城書房）2005。他

共著『鹿児島の歴史』（山川出版社）2011。『天璋院篤姫』（南方新社）2008。他

論文「海洋国家薩摩—焼酎が語る鹿児島の歴史と文化」（『想林』第4号：鹿児島純心女子短期大学）2013。「西南戦争と集成館」（尚古集成館）2017。他

講座の様子



松尾千歳氏



会場の様子

②文化講演会

隔年で開催することが恒例となった学外での文化講演会は、講演・シンポジウム・ワークショップ・展示等々、毎回テーマを冠し連動する企画をもって開催している。平成30年度は「きばいやんせ^{かごんま}鹿児島んおごじょーかごしまの魅力と元気を発信するするつどいー」というテーマで、基調講演・パネルディスカッション・展示部門という構成であった。働く女性が力を発揮するために、どんな課題がわたしたちに課せられているのか、男女共同参画社会とはどんな社会を目指しているのか、各方面で活躍されている方々の多角的な意見を拝聴した。

また展示・物販・催し物部門では、鹿児島県および鹿児島市の男女共同参画センターをはじめ、本学と包括連携協定を結ぶ自治体や企業およびNPO法人等々のご協力によって、会場に賑わいをもたらした。

テーマ：きばいやんせ^{かごんま}鹿児島んおごじょ

ーかごしまの魅力と元気を発信するするつどいー

日時：平成30年9月16日（日）12:00～16:00

会場：かごしま県民交流センター

（大ホール・中ホール・展示ロビー・大研修室）

主催：鹿児島純心女子短期大学江角学びの交流センター

共催：かごしま県民大学中央センター（かごしま県民大学連携講座）

後援：鹿児島県、鹿児島市、南日本新聞社

総入場者数：270名

平成30年度活動報告

プログラム：

1 基調講演13:15～13:45

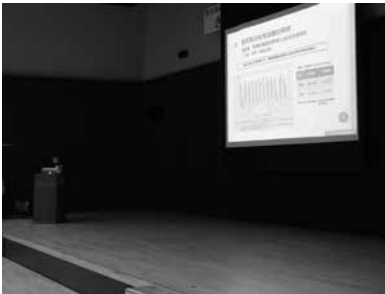
演題「女性の活躍が未来を拓く～鹿児島県の現状と取組について～」

講師：日高照子氏

(鹿児島県県民生活局青少年男女共同参画課男女共同参画室室長)

講師プロフィール

日高照子氏：昭和57年鹿児島大学法文学部卒業。鹿児島県入庁。鹿児島県職員として、国際交流課、旧隼人保健所、農村振興課等幅広い分野で経歴を積んだ後、平成15年4月にオープンした鹿児島県男女共同参画センターのスタートから4年間、センター事業に携る。平成26年度から2年間同センターの男女共同参画推進課長、平成28年4月より現職。平成29年3月、鹿児島県女性活躍推進計画を策定。平成30年3月、第3次鹿児島県男女共同参画基本計画（計画期間：2018年度～2022年度）の策定に携わる。性別に関わりなく、一人ひとりが、個性と能力を十分に発揮することができる社会を目指して取り組んでいる。



基調講演



日高照子氏

2 事例報告：各パネリスト10分 13:45～14:25

3 パネルディスカッション「きばいやんせ^{かごんま}鹿兒島んおごじょ」

14:40～15:50

パネリスト：小林洋子氏（鹿兒島県副知事）

山元紀子氏（パレルバレー プラハ & GEN 社長）

猪鹿倉房子氏（錦江町うんめもの会代表）

安川あかね氏（城山観光株式会社営業企画部）

司会：大山典子（本学教授・江角学びの交流センター所員）

パネリストプロフィール：

小林洋子氏 鹿兒島県副知事

奈良県出身。平成元年京都大学法学部卒業。労働省入省。

平成15年石川県小松市助役、平成18年厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課調査官、平成22年内閣府政策統括官付参事官（高齢社会対策担当）（併）子ども若者・子育て施策総合推進室参事官、平成23年内閣府男女共同参画局推進課長、平成26年厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課長、平成28年厚生労働省参事官（併）政策統括官付労働政策担当参事官室長等を歴任し、主に職場の男女平等・男女共同参画、女性の活躍促進に関わる。平成28年10月、鹿兒島県初の女性副知事に就任。女性や高齢者などいろいろな人が活躍できる社会づくりを目指す。

山元紀子氏 パレルバレー プラハ & GEN 社長

昭和52年鹿兒島純心女子短期大学食物栄養専攻卒業。(株)河内源一郎商店入社。昭和63年錦灘酒造(株)専務取締役就任、平成7年錦灘酒造(株)代表取締役就任。平成17年霧島高原ビール(株)代表取締役就任。平成25年(有)河内菌本舗代表取締役就任。麴を通じて地球環境の向上と人々の健康に貢献するという企業理念のもと、鹿兒島の観光・醸造業に積極的に関わり成果を上げた点が評価され、平成20年第14回鹿兒島県商工会議所産業経済賞受賞。平成27年より「観光立県かごしま県民条例」に基づく基本方針の策定に鹿兒島県観光立県推進会議委員として参画中。その他、鹿兒島観光コンベンション協会評議員、鹿兒島県観光連盟理事、霧島市観光連盟理事、農協観光全国常務理事・鹿兒島県支部会長、日本旅行 Nic 九州会長、霧島ガストロノミー推進協議会会長等々、幅広い社会活動をおして、地域の観光産業の育成・活性化に尽力している。

猪鹿倉房子氏 「でんしろ うんめもの会」代表

鹿児島県日置市出身。大隅半島 旧田代町（現 錦江町）の畜産農家に嫁いで農業をする傍ら、昭和58年食品加工グループ「おおふじ生活改善グループ」を設立。自家用に栽培し残った野菜（だいこん・高菜・人参等）を活かした漬物の製造・販売を始める。平成14年「でんしろ うんめもの会」に名称変更。平成17年の町の合併を機に田代地区内に4つあった食品加工グループが合併し、新体制の「でんしろ うんめもの会」となり現在に至る。地元の食材を使った、けせん団子や竹皮弁当等が主力商品となり、町内外での催しで商品販売と町のPR活動を行っている。また、来町するツアー客への加工体験の提供や、地域の歴史を伝えるなど過疎の町を元気にする活動に取り組んでいる。

安川あかね氏 城山観光株式会社営業企画部 宴会企画グループリーダー

神奈川県横須賀市出身。20歳のころ父の影響で海音寺潮五郎の本を読み、西郷隆盛に傾倒。横須賀市で市民講座の講師を務めながら、半年に一度は西郷のお墓参りと研究のために鹿児島を訪問するなど、全国各地の史跡を巡る。27歳で鹿児島に移住。西郷南洲顕彰会評議員を最年少で務める。2010年「かごしま検定」グランドマスター合格。現在は城山ホテル鹿児島で営業企画部宴会企画グループのリーダーとしてホテルイベントなどの企画を担当。また、ソムリエ有資格者としてワイン会の企画・運営・サービスなどもしながら、各企業、学校関係、自治体などの依頼で西郷隆盛に関する講演・講座・自作の紙芝居披露を行っている。



パネルディスカッション

○展示・物販・催し物：かごしまの魅力と元気を発信するつどい

12:00～16:00（大ホール）

参加団体（敬称略）

○錦江町役場 ○チェスト連合 ○本場大島紬織物協同組合 ○松栄軒 ○南方新社 ○つばめ文庫 ○濱島印刷 ○薩摩志史：薩摩ボタン ○鹿児島県男女共同参画センター ○鹿児島市男女共同参画センター ○かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議 若手会 ○鹿児島県PR・観光戦略部 世界文化遺産課 ○鹿児島県PR・観光戦略部 かごしまの新特産品コンクール実行委員会 ○公益社団法人 鹿児島県特産品協会 ○株式会社鳥津興業：仙巖園 ○鹿児島ユナイテッドFC（プロサッカー） ○鹿児島レブナイズ（プロバスケットボール） ○NPO法人 桜島ミュージアム ○薩摩焼窯元紫陶 ○鹿児島純心女子短期大学：大島紬でデザインしたクールビズ試作品展示

展示会場の様子



平成30年度活動報告



2 生涯学習支援室

平成30年度「純心市民講座」各講座の実施状況は表1のとおりである。

表1 平成30年度「純心市民講座」実施状況

講座区分	講座名	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
人間大学 (かごしま大 学連携講座)	「かごしま学Ⅰ」公開講義・文化講演会 Cangoxina—世界史の中の島津斉彬と西郷隆盛— 7/5 木曜 14時50分～16時20分	松尾 千歳	一般成人・学生		200	本学 大講義室 (27-604)
	文化講演会「きばいやんせ鹿児島(かごんま)んおごじょーかごしまの魅力と元気を発信するすつどいー」 ①基調講演 ②事例報告 ③パネルディスカッション ④展示・物販・催し物 9/16 日曜 12時～16時	日高 照子 小林 洋子 山元 紀子 猪鹿倉房子 安川あかね 大山 典子	一般成人・学生		270	かごしま県民交流センター
	シルバー世代のための健康・教養講座(全5回) 7/7～9/22 土曜 13時30分～15時30分					
	①幸せをもたらす対人関係のあり方	河野 一典	一般成人	30	31	かごしま県民交流センター
	②延ばそう食で、健康寿命!	榑 順子		30	34	
③『ローマの休日』を読む	小玉 智治	30		31		
④いきいきと自分らしく生きるためのヒント	坂元 恵子	30		37		
⑤自分さがしの二つの視線	奥村 和滋	30		40		
生活学講座	親子でクッキング 8/8 水曜 10時～13時	進藤 智子	小学生と保護者	20組	40	本学調理室
	親子で楽しく実験!夏休みの自由研究ガイド 8/22 水曜 13時～16時	三島 朋子	小学生と保護者	10組	24	本学実験室
	おもてなし料理 11/24 土曜 10時～13時	大山 典子	一般成人	20	20	本学調理室

想林第10号

外国語講座	純心の英会話 初級 (春季) 5/16~7/18 水曜 18時30分~20時 (全10回)	David O'Connor	16歳以上	10	7	鴨池公民館 (第1研修室A)
	純心の英会話 初級 (秋季) 9/26~11/28 水曜 18時30分~20時 (全10回)			10	4	
	純心の英会話 中級 (春季) 5/15~7/17 火曜 18時30分~20時 (全10回)	Brian Pedersen	16歳以上	10	3	鴨池公民館 (第1研修室A)
	純心の英会話 中級 (秋季) 9/25~11/27 火曜 18時30分~20時 (全10回)			10	3	
	純心の英会話 上級 (春季) 5/15~7/17 火曜 18時30分~20時 (全10回)	Matthew Watson	18歳以上	10	7	鴨池公民館 (第1研修室B)
	純心の英会話 上級 (秋季) 9/25~11/27 火曜 18時30分~20時 (全10回)			10	9	
	好っじゃ韓国語 入門 (春季) 5/24~7/26 木曜 19時00分~20時30分 (全10回)	李 賢雄 イ・ヒョヌン	16歳以上	10	4	鴨池公民館 (第1研修室B)
	好っじゃ韓国語 入門 (秋季) 9/27~12/6 木曜 19時00分~20時30分 (全10回)			10	6	
	好っじゃ韓国語 中級 (春季) 5/16~7/18 水曜 19時00分~20時30分 (全10回)		18歳以上	10	7	
	好っじゃ韓国語 中級 (秋季) 9/26~11/28 水曜 19時00分~20時30分 (全10回)			10	5	
子ども英会話 講座	はじめての英会話 幼児コース (春季) ①4・5歳児コース 6/23~7/28 土曜 9時~9時50分 (全5回)	John Tremarco	就学前の 児童 (4~6歳)	10	6	本学 27-220 または 27-318
	はじめての英会話 幼児コース (春季) ②5・6歳児コース 6/23~7/28 土曜 10時~10時50分 (全5回)			12	8	
	はじめての英会話 幼児コース (秋季) ①4・5歳児コース 9/15~10/20 土曜 9時~9時50分 (全5回)			10	4	
	はじめての英会話 幼児コース (秋季) ②5・6歳児コース 9/15~10/20 土曜 10時~10時50分 (全5回)			12	4	
	はじめての英会話 小学生コース (春季) ①初心者コース 6/23~7/28 土曜 9時~9時50分 (全5回)	Anna Tsagkari	小学生	15	11	本学 10-401 または 学生食堂
	はじめての英会話 小学生コース (春季) ②高学年コース 9/15~10/20 土曜 10時~10時50分 (全5回)			15	12	
	はじめての英会話 小学生コース (秋季) ①初心者コース 9/15~10/20 土曜 9時~9時50分 (全5回)			15	6	
	はじめての英会話 小学生コース (秋季) ②高学年コース 9/15~10/20 土曜 9時~9時50分 (全5回)			15	7	

講座の様子



おもてなし料理



親子で楽しく実験！

前身の「生涯学習センター」が発足して30余年が経過し、文字通り平成という時代とともに歩んできた本学の生涯学習支援活動を振り返りたい。

働く社会人、子育て中の親、高齢者の方等々広く学卒者の方々の学び直し（生涯学習）のニーズに応えたいという所期の目的は、発足当初から継続している。社会人になってからの「リカレント教育」の重要性が認知され、その使命を大学が担っている一少子高齢化の時代にあっては、大学の方こそそこに活路を見いだしているのかもしれないが—ことは当然である。近年の「働き方改革」を追い風に、個人的にも社会的にも、時間のゆとりが学び直しに向かう気運が高まることを願いたい。

本学のリカレント教育を概説しよう。①「科目等履修生」になれば（いくつかの条件をクリアする必要があるが）、全授業科目が一般の方々に開かれている。②特定の職業訓練を目指す「履修証明プログラム」は、本学でも平成30年度より、4つのプログラムを公開している。1年間で本学の正規授業4科目を組み合わせると、一定の職業的知識・技能を習得することができる。③「保育士等キャリアアップ研修」も平成30年度より開講している。この制度は保育者の処遇改善を主な目的とする国策であるが、多くの社会人の方々が本学のキャンパスを訪れ、新鮮な気持ちで学び直しに取り組んでいる。

このようにわたしたちの働き方が時代とともに変化する中で、教育・研究を担う学問の府としての大学のあり方も急速な変革を強いられている。開講科目を常に検討し、学生のみならず多くの社会人の方々のニ—

ズに応えられるように努めたい。

今後とも当センターの活動が本学の教育・研究機能を活性化するとともに、市民生活に寄与し、地域社会の学びの交流の橋渡しとなれるよう努める所存である。

(文責 河野一典)

3 こどもの未来支援室

今年度も吉留早木子氏に「リズムあそび」を、榎本容好氏に「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」をご担当いただき、「純心こども講座」として2講座を企画・実施した。5月～7月にかけて月1回のペースで開講し、開講のペースは昨年度と同様であった。

開講日などは、表2に示すとおりである。

表2 平成30年度「純心こども講座」実施状況

講座名	回	期日	担当講師	定員	受講者数	会場
リズムあそび	1	5/12	吉留 早木子	30組	29名 22組	本学 体育館
	2	6/16			24名 19組	
	3	7/14			24名 19組	
いろとあそぼう・ かたちとあそぼう	1	5/12	榎本 容好	20組	32名 19組	本学 2-103
	2	6/16			31名 17組	
	3	7/14			28名 18組	

注1 対象：就学前（2歳～6歳）の親子

注2 時間：午前10時30分～午前11時30分



「リズムあそび」「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の様子

「純心こども講座」は、本学こども学専攻1年生の実習の場を兼ねている。幼稚園教諭や保育士を目指す学生が在籍しており、入学してすぐ

平成30年度活動報告

の学生たちが、実際の子どもの姿に触れることができる貴重な機会となっている。今年度は、それぞれの講座を34名ずつの学生が担当した。担当講師の指導のもと、講座の開講時期に合わせたテーマを設け、役割分担をしながらそれぞれの講座を作り上げた。回を重ねるごとに効率よく準備を進められるようになるものの、講座準備のためには多くの時間が費やされている。それでも、小さな体で体育館を走り回る子どもの姿や、自分たちの準備した活動に夢中になっている姿を目にすると、準備の大変さはどこかに吹き飛んでしまうようであった。学生たちの取組みは、参加いただいた保護者の方々にも伝わっているようで、各講座の最終回に実施した受講者アンケートでは、「講座の内容に非常に満足・満足」の回答が9割以上となり、今年度の講座も一定の評価ができる内容となったといえる。

実施した講座の内容に満足はいただいているものの、講座の実施回数については増やして欲しいとのご要望もいただいている。学内の耐震工事の関係で、過去には4回実施できていた講座がここ数年3回の実施に留まっている。また、今年度は十分に駐車スペースを確保できないという事情もあり、各講座の定員は「リズムあそび」30組、「いとあそぼう・かたちとあそぼう」20組とせざるを得なかった。こうした学内の事情がある程度解消される次年度は、講座の実施回数を増やせるようにしたいと考えている。

おかげさまで今年度も地域の皆様をはじめ、様々な方々のご理解とご協力により、無事に「純心こども講座」を実施できたことに、深く感謝申し上げます。次年度以降も地域とのつながりを大切にしながら、よりよい活動を提供できるよう努力していきたい。

(文責 森木朋佳)

